

ビジョンは「働くを楽しく」、イデオロギーは「紙をなくしたい」。

— デジタル化によっての楽しさを創造し人がより働きやすい環境を目指す。

インタビュー オートメーションラボ株式会社

AutomationLab

<https://automationlab.co/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1
大手町ビル1F SPACES

- ・主な事業内容：請求書の自動処理サービス「sweep」を中心に、BPOや業務改善のコンサルティングサービスを提供
- ・設立：2011年6月6日
- ・資本金：3,000,000円



会計系システムコンサルの経験を活かして起業

オートメーションラボは、2011年6月6日に設立し、もうすぐ10年目を迎えます。

代表取締役／CEOの村山毅氏は、同社の創業前は会計系の

コンサル会社に勤務し、会計ソフトの開発・導入をしていました。エンジニアとして自分でシステムを作成し、営業し、お客様にヒアリングを行い、コンサルティングやフィット&ギャップ分析なども、一通り経験しています。

会社設立当初は、経理・人事・営業事務などバックオフィス

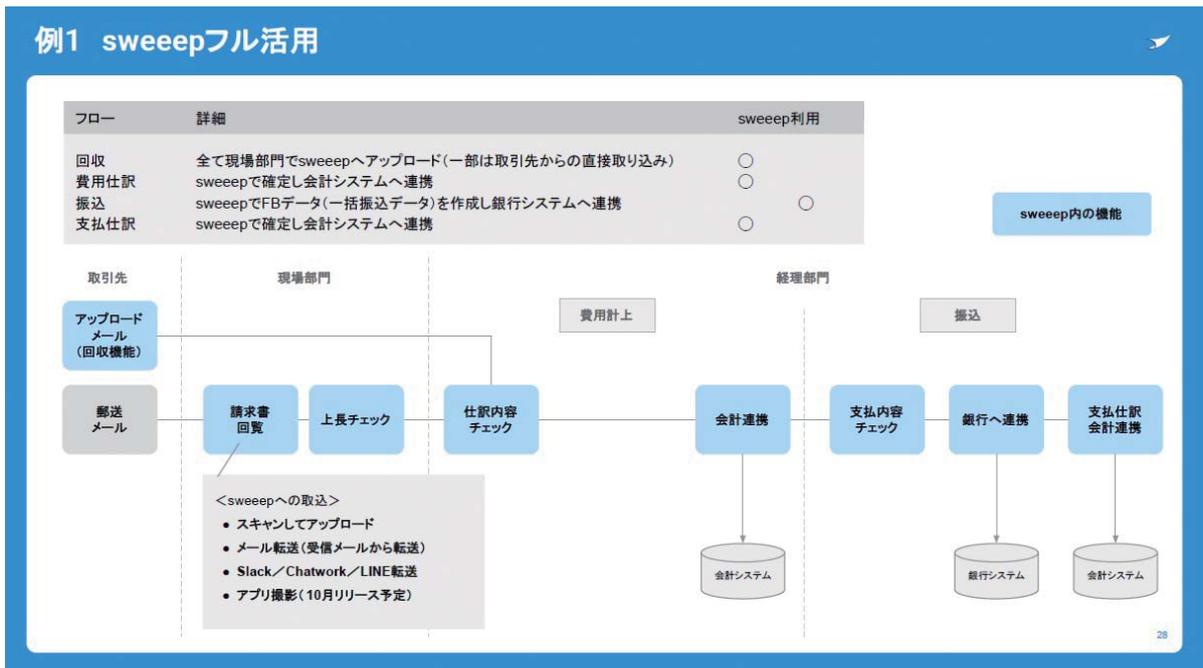


図1 「sweep」の活用例

領域のBPR事業・BPO事業を展開し、またRPAコンサルティングの提供も行っていましたが、2018年12月には、請求書の受取から仕訳・振込・保管を自動化するOCR付き請求書処理AI「sweep」(図1)をリリースしました。お客様により近い部分で、より詳しいご提案ができるのも、村山氏の創業前の経験が活かされています。

リリースまで大変な苦労はあったものの、そのおかげで今、業務面でも社内の全チームを見ることができます。なお、村山氏は現在も社長自らプログラミングも行い、営業もこなしています。

イデオロギーは「紙をなくしたい」

同社の事業の根底にあるのは「無駄が嫌い」ということでした。例えば経理業務では、紙で受け取り、誰かに回し、スタンプを押し、そして紙はどこに行ったとか、保管はどうするのかといった手間や問題が発生します。まずこの様な無駄を無くすことを目指しました。

「sweep」は、請求書の回収から仕訳・振込・保管まで自動で処理できるクラウドサービスです。OCRエンジンとAIで経理処理を高速に処理し、オンライン回収機能や電子帳簿保存法対応(スキャナ保存)に対応、文書管理システムとの連携も可能であり、経理担当者の負担を大幅に軽減します。

実際に導入いただいた企業でも、決算に7営業日かかっていたのが3.5日、半分に減り、決算以外でも人員や残業時間の削減に繋がったと大変好評です。また、無駄が嫌いという点で、社内ではコロナ前からリモートワークを実施してきました。通勤時間の削減はもちろん、満員電車も相当なストレスです。採用面接もzoomを利用し、すべてオンラインで行っていますので、東京近郊だけでなく、地方や海外で働くスタッフもいます。

仕事でも「楽しさを追求する」

会社で働くということにおいて、スタッフには、給料や勉強や成長も大事ですが、やはり楽しんで過ごして欲しい、何かを無理矢理やらせている状態が申し訳ない、という思いがあり、もっと仕事を楽しくしていきたいと村山氏は考えています。働いている時間を楽しく過ごすであっという間に仕事が終わりと、空いた時間で遊びに行ったり、ボランティアをしたり、子育てをするといった他の活動ができます。できれば仕事もそういった活動の一つとして、ウキウキする時間として過ごしてもらえるといいなと思っていて、さらにそれをお客様にも共有していければと思っ

VISION. 働くを楽しく

働くってなんだろう。
それはお金を稼ぐ事なのか。
誰かの命に立つことなのか。
成長するということなのか。
考え方は色々あつていい。
でも働くなら楽しい方がいいに決まってる。
人生の大半を働くなら楽しくやってやろう。

図2 同社のトップページにかけられたビジョンはとくに目を引くデザインとなっている。

ています(図2)。

人力で手作業して汗かきやっていた仕事(経理作業)が、業務改善(sweep導入)するだけで、そんな事をする必要が無くなります。「sweep」では読ませるだけでAI OCRを使ってすぐに自動化できます。その空いた時間で何をしようかという働き方を、世の中に広めていきたいと思っています。

JIIMAご入会のきっかけ

「sweep」が電子帳簿保存法に対応したので、JIIMA認証の申請を行いました。せっかく認証を取るなら会員となって、活動の一部を担えればと思い入会しました。

まずは認証を受けて「sweep」をより多くの企業に使っていただき、社会から紙をどんどん無くしていくのが最優先です。そして電子帳簿保存法をさらに使いやすい制度にしていけるようにしていきたいです。利用者側に近いところで仕事をしているので、多くの現場の声をJIIMAに情報伝達できますし、JIIMAから政府に上げてもらう様な流れができると、社会全体的に喜ばしい結果になります。

電帳法がより使い易くなって、利用ユーザーが増えると、今度は政府や税務署も業務効率化となります。確定申告などはまだまだ人力で手作業している部分が多く、作業コストを考えると電帳法対応するメリットは計り知れません。作業コストは最終的に国民ひとりひとりが納税者として負担することになりますので、電子化でコストダウンするということは、最終的には私たち個人にも恩恵があり、社会全体がより良いものになると思います。

JIIMA活動でも全体のコストダウンを目指し、皆さんと共に社会貢献できればと思います。

より多くのお困りごと解決のために

経理業務で発生する主な面倒なこととして、例えば期日までに請求書が集まらない、処理が進まないで期日が迫る、焦って仕事して、二重処理などのミスが発生してしまう。また、承認を取る、パンチで穴をあける、フォルダへ挟む、キャビネットへ保管する、といった手間がかかるなどさまざまです。

そして電子化に踏み切れれば解決するのは分かっていますが、お金や初期導入の手間がかかる、といったお悩みもあるかと思えます。

「sweep」は、月3万円から始められ、クラウドですから特別用意するものが無くともすぐに利用開始できます。他のシステム等への連携も指定のCSVフォーマットにして出力することで連携可能です。

OCRについて、あるお客様環境では認識率98.5%でした。誤認識対策として、チェックシステムを提供していますので、すべてのデータを人力でチェックする必要がありません。もちろんチェックされた箇所の確認は必要となりますが、それでも作業量は大幅に削減されます。何よりも面倒な仕訳作業から始めるのではなく、チェックから入ることができるので、ストレスが無



働くなら楽しい方がいいに決まっている。人生の大半を働くなら楽しくやってみよう。

代表取締役/CEO 村山 毅 氏

いのが大きな強みです。

業務系システムは、コンサルティングですとカスタマイズ提供となるため、対応できるのは年間10社程度でした。でもクラウドなら、より多くのお客様にサービスを提供でき、より多くの問題解決に貢献できるのではと考え、クラウド提供に決めました。

お陰様でユーザー数は順調に増えて、大企業からスタートアップなどの小規模企業まで幅広く支持されています。電子帳簿保存法にも対応し、これからJIIMA認証も取得し、他のサービス連携を増やしたりして、より多くのお客様のお困りごとを解決していきたいと思えます。





好きな写真と文字による
世界に一つの贈り物専門店

sense121 (センスイチニイチ) とは…

株式会社アピックスの提供するパーソナライズドワイン・吟醸酒のe-shoppingサイト名称です。企業・個人のパーソナライズド需要として、「お名前入リラベル」をあしらったお洒落なお酒のネットショッピングが可能になりました。酒造メーカー・酒販店から一歩離れた視点で、ギフト・ノベルティ市場に挑戦します。

APIX
株式会社 アピックス

■ 本社
〒541-0059 大阪市中央区博労町1-2-2
TEL.(06) 6271-7291(代) FAX.(06)6271-7296
URL <http://www.apix.co.jp> E-mail info@apix.co.jp

■ 東京支店
〒104-0041 東京都中央区東日本橋3-14-4 OZAWAビル3F
TEL.(03)5879-7291(代) FAX.(03)5879-7296
Online shopping <http://www.sense121.com/>





IS 612404